



新年を迎え、皆さま方にはご健勝でお暮しのことと存じ上げます。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、再度1都3県に非常事態宣言が発表されました。厳寒の時期と感染防止で在宅時間が増えてきています。お大事にお過ごしください。

さて、昨年、皆さまにご協力をいただきましたアンケートの結果が出ましたのでお知らせいたします。町会の役員の皆さまにもご協力をいただきまして、感謝申し上げます。

布施新町みらいプロジェクトでは従来より「ぶらりゆめプラザ」や「みんなの広場」、「スマホ教室」などを開催してきました。今後はこのアンケートを参考に、さらに新たな活動を展開していきます。

布施新町みらいプロジェクトは、布施新町いきいきネットワークの活動グループです。



## 「布施新町における暮らしと交流についての調査」 ご協力ありがとうございました

昨年2020年8月から9月にかけて、布施新町1丁目から4丁目にお住まいの皆さまに「布施新町における暮らしと交流についての調査」へのご協力をお願いしました。

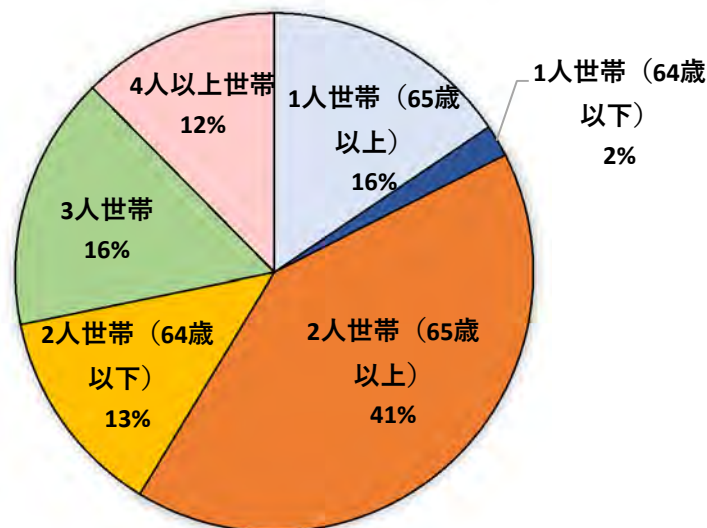
おかげさまで 702 世帯（対象世帯1,177の約6割）のご協力をいただきました。ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

右の(図1)は、今回の調査にご協力いただいた方の世帯種類別の割合です。

1人や2人の世帯が過半数を占めており、中でも高齢の1人暮らし・2人暮らしが多いことがわかります。

毎年のように不測の出来事がおきる昨今、布施新町で安心して暮らし続けるために、町にどんなこと・ものがあったら良いでしょうか。

次のページから、調査結果を抜粋して紹介します。調査結果を参考に、町として出来ることを考えます。



(図1) 回答者の世帯種類別の割合



## 近所・地域との交流は？

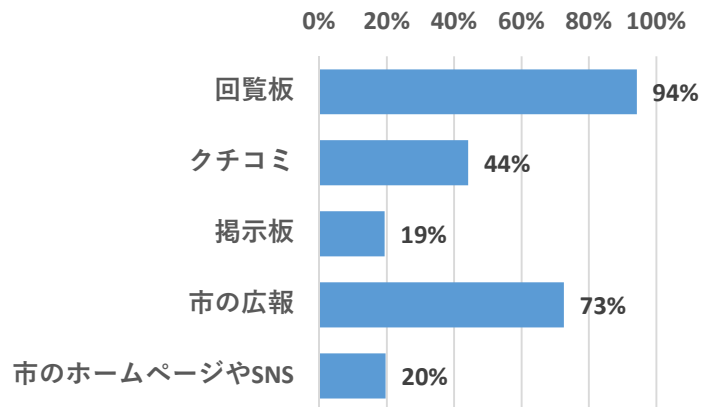
- 近所にちょっとした困りごとを頼める家族や知人がいる **66%**
- 近所に緊急・災害時に助けを頼める家族や知人がいる **62%**
- 地域のイベント、趣味・サークル活動、等に月1回以上参加している（コロナ以前） **37%**



## 地域の情報の入手方法は？

(図2)のとおり、地域情報の入手方法は「回覧板」という答えが圧倒的でした。次いで「市の広報誌」「クチコミ」が続きました。

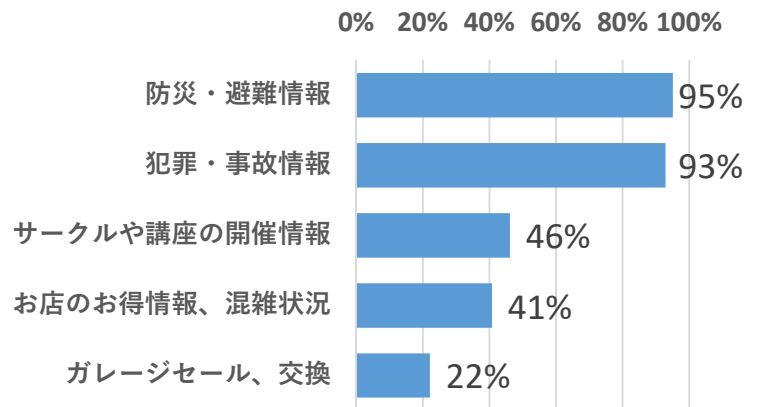
(図2) 地域の情報をどこから得ているか



## どんな地域情報が欲しい？

(図3)のとおり、防災、防犯、安全に関係する地域情報を知りたいという方が9割以上でした。地域の楽しみや、近くのお店の情報を欲しいという声も、半数近い方から寄せられました。

(図3) 地域の情報を「ぜひ欲しい」「まあ欲しい」と回答した割合



## 新型コロナウイルス感染症の、地域生活や交流への影響は？

- 「別居の家族と会えなくなった」「趣味の活動が全部休会になった」等、交流が減ったという声が多く挙げられました
- 一方で、「近所のお店を使うようになった」「在宅勤務によって自宅や町内で過ごす時間が長くなった」等の意見もありました
- 「オンライン飲み会を始めた」「LINEで孫と喋るようになった」等、新しい交流方法を使い始めた方もいらっしゃいました

近所に緊急時に頼れる人がいる方は回答者の6割ほど。また、多くの方が欲しいのは、防災・防犯などに関する地域情報でした。コロナで対面での交流が制限される中でも、日頃から必要な情報を迅速かつ正確に入手できるようにするには、従来の回覧板や広報誌に加えて、どんな方法があると良いでしょうか。



## インターネット、スマートフォン等の普及率は？

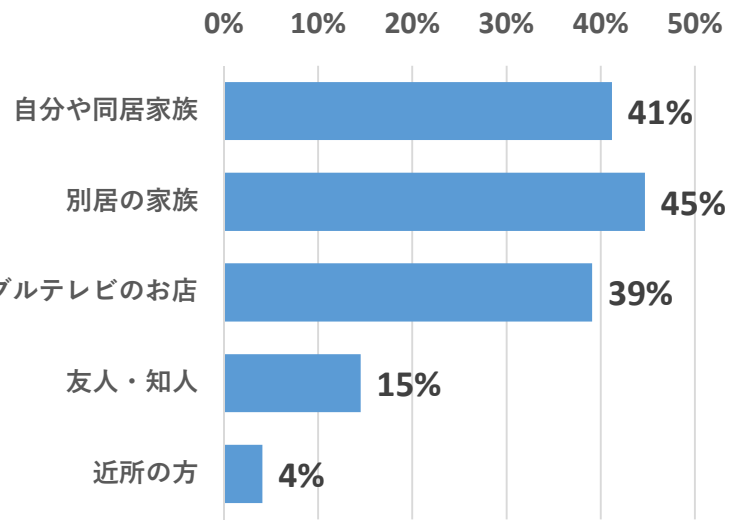
- 自宅にインターネット環境がある（携帯電話のポケット通信含む） **80%**
- スマートフォン（スマホ）・パソコンを使っている **82%**
- ‡ ただし65歳以上1人暮らし世帯のインターネット利用は **51%**



## パソコンやスマホ、携帯などの相談先は？

(図4) インターネット・スマホ等について相談する人・場所

(図4)のとおり、パソコン、スマホ、携帯電話などについて相談したときには、別居または同居の家族、携帯ショップやケーブルテレビのお店に頼るとい声が多く挙げられました。



## 近所で相談できた

携帯・ケーブルテレビのお店

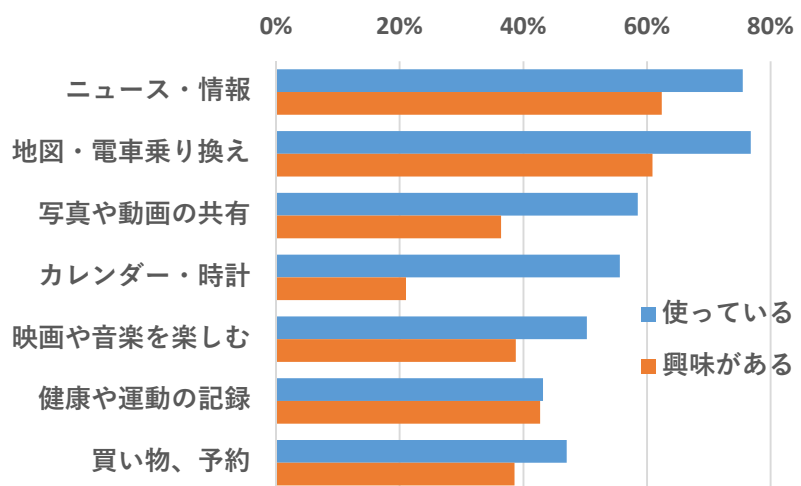
- 近所に無料でインターネットが使える場所があったら 使いたい **17%**
- 近所でスマホやインターネットを教えてください 使いたい **31%**

(図5) インターネット・スマホを何に使っているか/使っていないが興味あるか



## インターネット・スマホで何ができる？

(図5)の青いグラフは、インターネット・スマホを現在使っている方の主な使い道です。ニュースや地図などを調べる、写真や動画を共有する、スケジュール管理、映画や音楽を楽しむ、買い物をする、など、幅広く使っています。



同じく(図5)のオレンジ色のグラフは、現在スマホを使っていない方が興味のある使い道です。ニュースや地図等の検索や健康・運動の記録などに関心をお持ちの方が多かったです。

アンケートのより詳しい結果をインターネット上で公開しています  
パソコンやスマホで読めます → <https://fuseshinnmachi.com>



QRコード

調査結果から、調査協力いただいた皆さんのインターネット・スマホ普及率は8割。地域の大切な情報を入手・交換し、地域交流を進めるのに、これらの機器やサービスを役立てることができそうです。

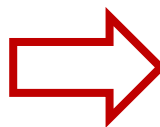
一方で、高齢一人暮らしのお宅への普及率は5割にとどまり、従来の回覧板や広報誌も大切であることがわかりました。

インターネットやスマホは、便利だと言われるけれど正直よくわからないという方も多いのではないのでしょうか。近所で気軽に相談できたり、お友達と一緒に安心して使えるような工夫も必要かもしれません。

このアンケートは、布施新町みらいプロジェクトが企画し布施新町町会の協力を得て実施いたしました。アンケートの作成や分析には、東京大学高齢社会総合研究機構の協力を頂きました。

## インターネットやスマートフォンでできる便利なことは？

- ① 最新ニュース、防災情報が見られる
- ② 家族や友人とテレビ電話ができる
- ③ 音楽や映画が鑑賞できる
- ④ いろいろな趣味の情報が見られる
- ⑤ 写真、ビデオを撮ることができる



自分が見たい、  
やりたいと思う  
時にすぐできる

などなど

## スマートフォンは携帯電話パソコンのようなものです

現在のコロナ禍においても在宅で様々な楽しみが実現できます。将来は町会回覧板の情報がいつでも見られるように町会とも連携していきます。このようなことを一般的にICT（情報通信技術）と呼ばれています。つまり通信技術を使って人とインターネット、人と人がつながる技術のことをいいます。



## みらいプロジェクトのこれからの活動



- ① 皆さんの横のつながりを広める目的でスマートフォン（LINEなど）を使ったオンライン交流を実現するための講習会を継続的に実施します（2回/月）。オンライン講習も実施します。
- ② 海外在住の日本語を学ぶ青年たちとの交流会を計画します。オンラインのパソコン画面で海外青年と日本語でお話を1回30分程度していただきます。月2回開催予定です。若い人たちとの交流は楽しいですよ！
- ③ コロナ禍が鎮静化しましたら、趣味の集まり「みんなの広場」、三世代の集まり「ぶらりゆめプラザ」も再開いたします。



みんなで一緒に楽しいまちにしましょう！

みんなで広げよう



発行元

布施新町みらいたより編集委員会  
tai2\_18san@yahoo.co.jp

布施新町みらいプロジェクトの活動は  
令和2年度共同募金配分金による実施事業です。 支え合いの輪